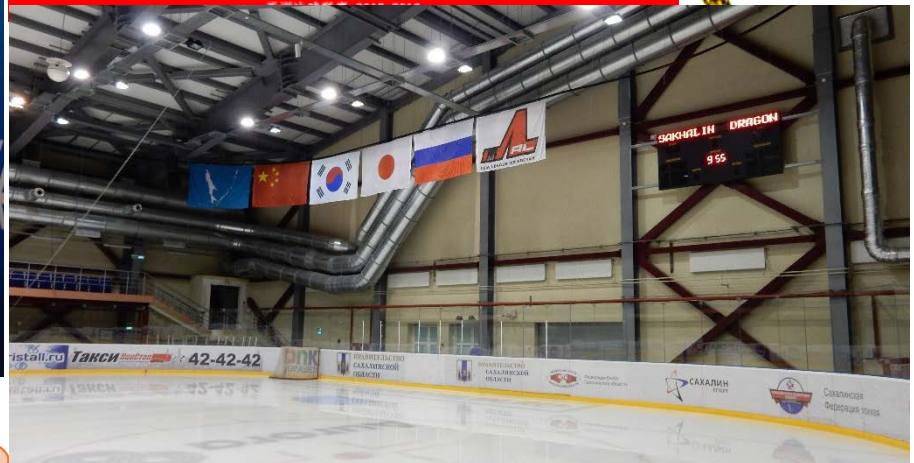


花田学園卒業生訪問 Report

HANADA - AT Newsletter #6

アジアリーグアイスホッケー「チャイナドラゴン」 チームトレーナー 宮川洋次朗さんに聞く



WHAT?

??アイスホッケー アジアリーグ??

アジアリーグアイスホッケーは日本、中華人民共和国、大韓民国、ロシア連邦（極東地域）の4カ国のアイスホッケー連盟が参加して行うクラブチームの国際リーグ戦。2003年設立。

一試合あたり 20 分×3 ピリオド。延長戦（5 分）はゴールキーパー以外で各チーム 4 人のプレイヤーがプレーできる。延長戦が終わっても引き分けの場合は、各チーム 3 人ずつでシュートアウトを、チームのゴール数に決着が着くまで行う。プレーオフでは、シュートアウトを行わず、どちらかのチームが先制した時点で終了の 20 分の延長戦を繰り返し行う。勝ち点 3、引き分けの場合は両チームに勝ち点 1。レギュラーシーズンは全チーム 3 試合ずつのホーム&アウェイ形式。



《加盟チーム》

日本	韓国	中国	ロシア
<ul style="list-style-type: none"> ・ H.C.栃木日光アイスバックス ・ 日本製紙クレインズ ・ 王子イーグルス ・ 東北フリーブレイズ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アニャンハルラ ・ High1 ・ デミョンサンム 	<ul style="list-style-type: none"> ・ チャイナドラゴン 	<ul style="list-style-type: none"> ・ サハリン
計 4 チーム	3 チーム	1 チーム	1 チーム

Trainer



宮川 洋次朗 アスレティックトレーナー（みやがわようじろう）
 チャイナドラゴントレーナー。鍼灸師・あん摩マッサージ指圧師・日体協公認 AT。平成 25 年日本鍼灸理療専門学校夜本科卒業。平成 26 年アスレティックトレーナー専攻科修了。平成 26 年からアジアリーグアイスホッケー「チャイナドラゴン」専属トレーナー。
 「私が働くチャイナドラゴンというチームは中国人選手が大半を占め、加えて日本人選手と他国の選手がプレーをしています。私も中国で生活をしながら活動をしています。」



Q&A

Q1. 今の職業を目指すようになったきっかけを教えてください。

高校生の時から将来はスポーツに関わる仕事がしたいと考えていました。

そして日の丸を背負って仕事をするという事が夢でもありました。

チーム現場で選手をサポートする仕事に携わりたいと思うようになり、選手を一番近くでサポート出来るアスレティックトレーナーの職業に就こうと考えるようになったのがきっかけです。

Q2. 現在の仕事内容をできるだけ具体的に説明してください。

選手の身体面に関するスタッフが私のみなので基本的に全ての業務を行います。

テーピングやアスレティックリハビリテーション、選手の治療、傷害対応などはもちろんですが、ストレングストレーニングの作成・指導、選手のコンディション管理・指導、栄養管理、衛生管理、データ管理なども行っています。

海外遠征が多いため現地の状況をマネージャーと連携し、情報を収集・改善を行い、出来るだけ良い環境を提供出来るよう努めています。中国をはじめ日本以外の国では水道水が飲めないため水に対しては気をつけますし、衛生面は特に注意して扱うようにしています。



Q3. 仕事の面白さややりがいを感じるのはどんな時ですか？

チームが勝利した時はアスレティックトレーナーという職業が味わえる最高の幸せ・喜びだと思っています。大変な事・辛い事も多いですがその瞬間をチームの一員として味わえる事がこの仕事をしている中で最大のやりがいだと感じています。

Q4. 仕事の大変さを感じるのはどんな時ですか？

言語や文化・習慣が日本とは異なる土地で活動しているので、私が伝えたい事が思った通りに伝わらない点が仕事をする上で一番大変なことです。なるべく伝わるように出来るだけ噛み砕いた表現を使う必要があります。その国の言語を話せる事がどれほどのアドバンテージになるのかを本当に痛感させられます。

日本人が考える正論が必ずしもこの国での正論になるわけではないので、自分の意見とその国の考え方などをアジャストして両方の合意が得られるようにしていく事が日本で働く以上に大変だと感じています。

Q5. 花田学園を選んだ理由を教えてください。また昼間部 or 夜間部を選んだ理由も教えてください。

アスレティックトレーナーとして活動していく為にやはり医療資格が必要だと感じていました。そして両親が鍼灸師という事もあり鍼灸師の資格を取得しようと考え、付帯教育として日本体育協会公認アスレティックトレーナーの資格も取得可能な花田学園に進学しようと決めました。

Q6. 学校で一番思い出に残っていることを教えてください。

クラス旅行と学園祭です。クラス旅行では普段なかなかクラス会に参加出来ない同級生も一緒に旅行に行けて、色々な話をする事で新しい一面を発見する事が出来たりしたのでとても楽しかったです。

学園祭では2回クラスの仲間とカラオケ大会に出ました。結果は毎回散々でしたが、他学科の仲間も出来て交友の輪が広がったと感じました。

Q7. 学校で学んで一番役に立っていることは何ですか。

アスレティックトレーナー専攻科で学んだ全ての事は今本当に役立っていると感じています。自分の活動の基盤になっています。

Q8. これから目指していきたいことや現在の目標を教えてください。

現在の目標は2020年の東京オリンピックを何らかの形で日本のスポーツ界にアスレティックトレーナーとして貢献することです。日の丸を背負うと言う事がこの職業を目指す私の夢であり、目標でもあったので遅かれ早かれ叶えたいと思っています。

中国に来て活動をしてみようとしてくれる選手、チームがあるのであれば日本に関わらずチャレンジしてみたいと思うようになりました。そして、日本人の仕事の細やかさ、気遣いなどは他国に行っても尊敬され重宝されます。そういった意味では日本人の良い所を他国に伝え広げていく事は他国のスポーツ界にとっても日本にとっても良い事だと思うので、そんな仕事が出来ればと良いなとも思っています。そしてこの巨大国家でメダル量産国でもある中国のスポーツ界の内部を知るチャンスでもあるので機会があれば色々な場所へ足を運んでみたいですね。

Q9. 鍼灸・柔整の道を目指す方へのアドバイスとメッセージをお願いします。

鍼灸・柔整の資格は日本以外の国でも重宝されるというのを実感しています。海外で働く為にはその国の資格が必要な場合もありますが、鍼灸・柔整の資格を目指す先に海外で仕事をするということ視野に入れても良いかもしれません。様々なフィールドへチャレンジ出来る資格でもあると思うので、是非資格取得を目指してください！



Q10. 思い出に残る活動内容などお聞かせください。

私の所属しているチームは昨シーズン途中まで 182 連敗を喫していました。ですが昨年勝利し、連敗を止める事が出来ました。その勝利した試合は今でも忘れませんし勝利のために努力してきた良かったなと感じる瞬間でもありました。しかしすぐに次の試合の勝利のために何をすべきか考えていたので、選手からは勝利したのに冷めていると注意されてしまいました（笑）

Q11. ご自身の競技歴、成績などを教えてください。

高校時代にラグビーをしていましたが、成績は特にはないです。

Q12. 患者さんや競技者に、期待されていることや求められていることなどありましたらお聞かせください。

日本以上に教育の面で求められる事が多いと感じています。日本の競技者に比べるとコンディショニングやトレーニング、栄養などの知識がありませんし習う機会・知る機会が少ないと思います。都市や他チームなどでは違うのかもしれませんが、少なからず私の活動する地域ではそれが現状です。そのため、そういった部分を一から教えていく事が大事であり習慣化されるよう努力しています。一過性のサポートにならず今後も選手が自主性を持って取り組めるようにしたいと思っています。

【編集後記】中国のアイスホッケーチームで活躍する宮川さんからお話をお伺いしました。日本を離れ言葉や習慣の違いなど大きな壁にぶつかりながら懸命に努力する姿に頼もしさを感じました。2020年東京オリンピックで日の丸をつけてご活躍いただきたいと思います。取材のご協力に感謝いたしております。（溝口）

発行：花田学園アスレティックトレーナー総括部

取材：花田学園アスレティックトレーナー専攻科・東京有明医療大学 AT・HFI コース

〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町 20-1 <http://www.hanada.ac.jp/>

電話 03-3461-4787 Fax 03-3461-4733

注：掲載の写真および文章の転載を禁じます。



取材日：平成 27 年 7 月 取材協力：チャイナドラゴントレーナー、宮川洋次郎さん

《花田学園 東京有明医療大学、日本鍼灸理療専門学校、日本柔道整復専門学校》

花田学園 AT 総括部（花田学園 AT 専攻科、東京有明医療大学 AT/HFI コース） 溝口秀雪

HANADA GAKUEN



TAU 東京有明医療大学

- 保健医療学部（鍼灸学科／柔道整復学科）
- 看護学部（看護学科）

附帯教育 ※保健医療学部のみ

(公財) 日本体育協会公認AT適応コース アスレティックトレーナーコース
(公財) 健康・体力づくり事業財団 健康運動実践指導者養成校 健康運動実践指導者コース

■ 大学院

平成27年4月より

『保健医療学研究科 博士課程』がスタート!

- ・保健医療学研究科 博士前期課程／博士後期課程
- ・看護学研究科 修士課程

〒135-0063 東京都江東区有明2丁目9番1号 Tel.03-6703-7000

りんかい線「国際展示場」または「東雲」駅より徒歩13分

ゆりかもめ「有明テニスの森」駅より徒歩10分

<http://www.tau.ac.jp>

厚生労働大臣認定・指定

日本鍼灸理療専門学校 日本柔道整復専門学校

- 本科 鍼灸あん摩マッサージ指圧科(昼3年・夜3年)
- 専科 鍼灸科(昼3年・夜3年)
- 柔道整復科(昼3年・夜3年)

附帯教育

(公財) 日本体育協会公認AT適応コース アスレティックトレーナー専攻科

〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町20番1号 Tel.03-3461-4787

「渋谷」駅 南改札西口より徒歩5分

<http://www.hanada.ac.jp>

医療人の原点へ
現代医療の未来へ